



アイシティでは、使い捨てコンタクトレンズの空ケースリサイクル運動「コンタクトのアイシティ ecoプロジェクト」をおこなっております。

現在の参加数(2019年2月時点) 高校 … **613**校 中学校 … **207**校 企業 … **713**社(事業所・支店含む)

2017年4月から全国に活動をひろげはじめ、**1,533団体様**にご協力いただいております。  
ご協力いただいた学校様・企業様をアイシティ公式HPで一部ご紹介させていただいております。

## 1グラムから始める 3つの社会貢献！

### ① CO<sub>2</sub>削減に貢献！

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収量とCO<sub>2</sub>削減量  
2010年4月～2019年2月の累計実績

使い捨てコンタクトレンズの  
空ケースの回収量  
**299.38t**

ecoプロジェクトでの  
CO<sub>2</sub>削減量  
**829.29t-CO<sub>2</sub>**

※829.29t-CO<sub>2</sub> 東京ドーム49.7個分の森林が1年で吸収するCO<sub>2</sub>と同量  
※最新の情報はホームページに記載しています。

#### コンタクトレンズの空ケース リサイクルのながれ



### ② 障がい者の方の自立・就労支援

アイシティ店舗や眼科で回収された空ケースのアルミシールをはがすなど、リサイクルの支援業務を行っています。

※ 全国の社会福祉施設で作られた手作り小物を買取り、ご協力いただいたお客様へのお礼としてアイシティ店舗にてプレゼントしています。  
※ 学校様・企業様は、各団体毎にアルミシールをはがしてから回収をお願いしています。



### ③ 日本アイバンク協会への寄付

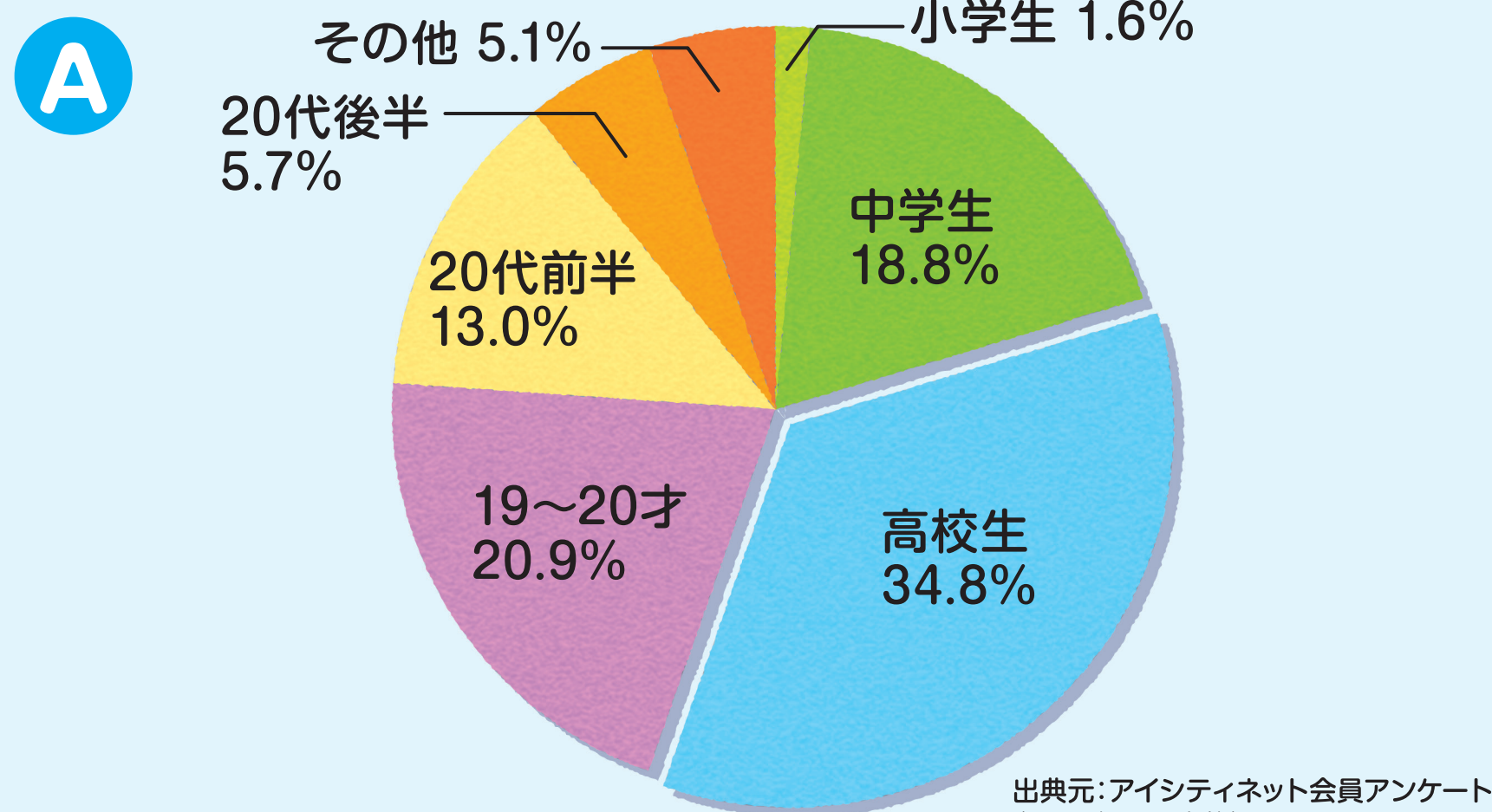
空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた収益を、全額日本アイバンク協会に寄付しています。

2010年4月～2018年9月の寄付金額  
**7,383,613円**



## ✿ コンタクトレンズNavi ✿

### Q みんながコンタクトレンズデビューしたのはいつ？



アイシティ会員のセンパイたちは**高校1年生でデビューしたという方が多い**ようです。

**大学入学や就職といったライフスタイルの変化を機にデビューする方**が多いのかもしれないね。

### Q みんながコンタクトレンズデビューしたきっかけを教えて！

A 「**スポーツをよりアクティブに楽しみたい！」「ライブや映画を満喫したい！**」など、ライフスタイルをより充実させたい！という気持ちや「**自分のイメージを変えたい！」「ヘアメイクやファッションを楽しみたい！**」といったきっかけが多いようです。



## ✿ 企業紹介 ～eco活動なにしてるの？～ ✿

### 株式会社大塚商会

通信販売事業「たのめーる」の、「A4でえ～よん」ダジャレCMでおなじみの大塚商会です。  
環境活動にもまじめに取り組んでいます。当社の環境活動の一部をご紹介します。

ブラジルで環境保全のための植林事業を実施中  
ブラジル赤道直下のアマパ州マカパの500ヘクタール(東京ドーム106個分)の土地に、約56万本のユーカリの木を植林し「たのくんの森」と名付けています。ユーカリは成長が早く、約6年で製紙原料のチップにできます。またユーカリの木1本は、1年間に約9.17kgのCO<sub>2</sub>を吸収してくれます。この「たのくんの森」で年間約5000トンのCO<sub>2</sub>を削減していることになります。この森の木を使った環境に優しい「たのくんの森」コピー用紙として販売しています。植林から伐採そして用紙として販売することで、持続可能な環境保全活動となっています。



### 三菱UFJ証券ホールディングス

三菱UFJ証券ホールディングスは、三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)が100%出資する証券持株会社です。傘下には金融商品取引業・証券業を中心とする営業活動を行う子会社、関連会社が国内外に複数あります。  
当社は、傘下の事業会社とともにMUFGグループの一員として、「経営ビジョン」「行動規範」を踏まえ、グループ一体となって、地域・社会や環境に役立つCSR(社会貢献)活動を推進しています。当社では、本プロジェクトの主旨に賛同し、2018年6月から取り組みを始めました。社員だけでなく、家族や友人にも幅広く声をかけ、2019年2月迄の9か月間で68.9kgの空ケースを回収しました。普段何気なく捨てていたもの、もったいないと感じていたものが、リサイクルによって人々の役に立ち、また、社会・環境問題の解決につながる実感が取り組みを後押ししています。当社はこれからもこの活動を推進してまいります。

